

## さらなるご活躍を

人間健康学部長・人間健康研究科長 涌井 忠 昭

黒田研二先生（以下、「黒田先生」と略す）は、1975年3月に大阪大学医学部をご卒業後、精神科医として研鑽を積まれました。その後、大阪大学医学部、大阪府立大学社会福祉学部勤務された後、2011年4月に関西大学人間健康学部に着任されました。

学部では、「精神保健福祉論」「予防医学」「高齢者福祉論」など多くの授業をご担当いただきました。2014年4月に開設した大学院人間健康研究科修士課程（現在は大学院人間健康研究科博士課程前期課程）においても、「人間健康研究」「健康福祉研究」「人間健康テーマ研究Ⅲ」などの授業をご担当いただき、大学院人間健康研究科博士課程後期課程設置の際にもご尽力いただきました。

黒田先生の研究領域は精神保健、地域保健、高齢者福祉など広範囲で、その成果は著書34冊、論文等は290編以上におよび、精力的に研究を続けてこられました。また、大学院博士課程後期課程設置後は多くの大学院生に対して懇切丁寧にご指導をされてきました。そんな黒田先生の研究に対する姿勢を表す言葉があります。「研究に休日はない」黒田先生がご指導されている大学院生から聞いた言葉です。

私は偶然にも黒田先生と同じ2011年4月に人間健康学部に着任しました。介護福祉士の教育と介護に関する研究を行っていた私は、かねてから黒田先生のお名前を存じ上げており、ご一緒できることを嬉しく思いました。

一方、私がA棟1階のエレベーターの前に立っていると、黒田先生は「私は階段で行きます」と言われ、階段を一段とばしに3階まで駆け上られるなど、トレーニングも実践されていました。

2020年4月からはご出身の九州にある西九州大学に着任されとのことですが、お身体に気を付けられ、さらなるご活躍をお祈り申し上げます。

黒田先生、お世話になりました。ありがとうございました。